

自然保育推進事業 活動報告書

1. 団体名：焼山こぼと幼稚園
認定こども園焼山こぼと

2. 今年度の活動概要

(1) 環境構成に関すること

焼山こぼとは、呉市押込町の中にあり、山に囲まれているので、比較的、季節の移り変わりなどの自然を身近に感じることができる園です。(写真1)

今年度は、いつも感じることができる季節の移り変わりだけの自然ではなく、水や土に意図的にたくさん触れて遊ぶことができるような環境を整えることを意識してみました。また、環境を見直していく中で、子どもたちが自由にとって遊ぶことができる“雑草がほしい”という意見がありました。

当園は広々としているわりに、シロツメクサやエンドウ、ススキなどの雑草が子どもたちの手の届く場所になかったこともあり、観賞用の花だけでなく、取って遊べる草花を育てることを試みました。(写真2) 畑からとってきた土から、この春はマメブエがたくさん伸びてきています。

写真1



写真2



(2) 活動例

1年間の活動の様子

草花をすりつぶして色水作り



竹ぽっくり作り



水に浮かぶおもちゃを作って川に浮かべました



山に水がたまるので、板やコンテナを自由に置いて、橋などにして遊びます。



砂場では、塩ビ管やトビを置いてみました。
どろんこ遊びの活性化につながりました。



山にスコップ・バケツ・皿などのおもちゃを整理して置ける場所を作りました



葉っぱに動く目玉をつけるなど制作遊びも充実



山の一角に、海の砂と田んぼの泥を2種類用意。色や特性の違いを感じながらどろんこ遊びをしています



田植え前の田んぼに遊びに行き、砂場の泥とは違うどろんこ遊び



ゴーヤを植えてグリーンカーテン作り



空き箱の中に葉っぱやドングリを使って箱庭作り



山でイシガメを発見。つかまえて観察



(3) 研修会の実施

園の山で遊ぶにあたって、先生たちの知識をより深めていくために、菊間先生にお越し頂いて、実際に園の山を歩きながら、遊びを教えてくださいました



シダを使って遊ぶ方法



やまさんしょうの葉っぱを
味わってみました



子どもたちが新しく遊べる場所を開拓



キノコ・蜂・へびなどの危険な生き物
などの対処法などを教えてくださいました